

市民がつくる環境都市こまき



こまき環境広報

編集:こまき環境市民会議

第三次小牧市環境基本計画が定められました

豊かで美しい自然を守り、自然と人が共生するまちを実現するため、小牧市では「環境基本計画」を策定しています。この計画では、小牧市の望ましい環境像の実現を目指して、地球温暖化対策をはじめ、マイクロプラスチックによる生態系への影響等の環境問題を解決するため、環境施策を5つの分野に分けて基本目標を掲げ、市民・事業者・行政が協働のもと、それぞれ行うことを示しています。

望ましい環境像

尾張野の 四季の恵みが 実感できるまち ～環境都市こまき～

5つの基本目標

人づくり・
基盤整備

地球温暖化
対策の推進

快適な生活
環境の確保

循環型社会
の構築

生物多様性
の保全

こまき環境市民会議では、望ましい環境像の実現に向け、市民の立場から様々な取り組みを行っています。今回の環境広報では、5つの基本目標のうち「快適な生活環境の確保」から「景観整備」についてご紹介します。

都市景観団体『やすらぎみちの景観を守る会』が発足！

平成30年12月に実施した市民アンケート調査では、緑が多く、快適に歩ける道があることの満足度が高い一方、まちなみの美しさの満足度・重要度は低い結果となっており、快適に歩ける道があることと、まちなみの美しさが結びついていないことがうかがえました。



私たちが快適な生活を送るためには、小牧山をはじめとした優れた自然景観をまちづくりに活かし、良好な景観形成に取り組むことが大切であり、それは環境美化にも繋がります。

小牧駅から小牧山につながる小牧駅前線延伸道路沿いは、史跡や緑豊かな自然環境が残り、歴史・文化を感じることのできる区域として、平成15年4月に「やすらぎみち」と称する「都市景観形成重点区域」に指定されました。

太枠で囲われた部分が対象の区域です。

やすらぎみちは、「小牧の顔と心をつなぐ、歴史的趣と調和した緑豊かなシンボルロード」を目指し、電線類の地中化や歩道・車道の整備が行われてきました。

この区域には、寺社や神社をはじめとした歴史・文化の趣とともに、豊かな自然環境が保たれており、市のシンボルである「小牧山」への散歩道として親しまれています。



小牧神明社北側道路から
小牧山方面を眺める



この都市景観形成重点区域の景観の維持・改善のため、令和2年6月に「都市景観形成重点地域の景観を守る会」（通称：やすらぎみちの景観を守る会）と称する会が「都市景観団体」として認定されました。この会の活動は、市民の立場を旨として主に次の4項目です。

- ① この区域の街並づくりのルールが守られるように協力する。
- ② 小牧山を眺望できる街並み景観が守られるように協力する。
- ③ 区域内に建築物等の設置が新たに申請されたときは、市民の立場で評価する。
- ④ 景観を守るための美化活動を行う。



小牧神明社



お林稲荷



玉林寺

やすらぎみちをはじめ、小牧市の多くの優れた都市景観を形成するには、市民の皆様や事業者等の協力なしでは、実現することはできません。史跡や緑豊かな自然環境を残していくため、一人ひとりがごみのポイ捨てをやめる等美しい景観の維持に努めましょう。



みなさんに環境基本計画について知ってもらうため、これからこの環境広報で少しずつ紹介していきます♪

こまき環境市民会議のメンバーになって、環境について一緒に活動しませんか？

興味がある方や一緒に活動したい方のご連絡をお待ちしております！

ホームページ：<http://komakikankiyoushimikaigi.jp/>

又は「こまき環境市民会議」で検索してください

事務局：小牧市役所環境対策課（0568-76-1181）